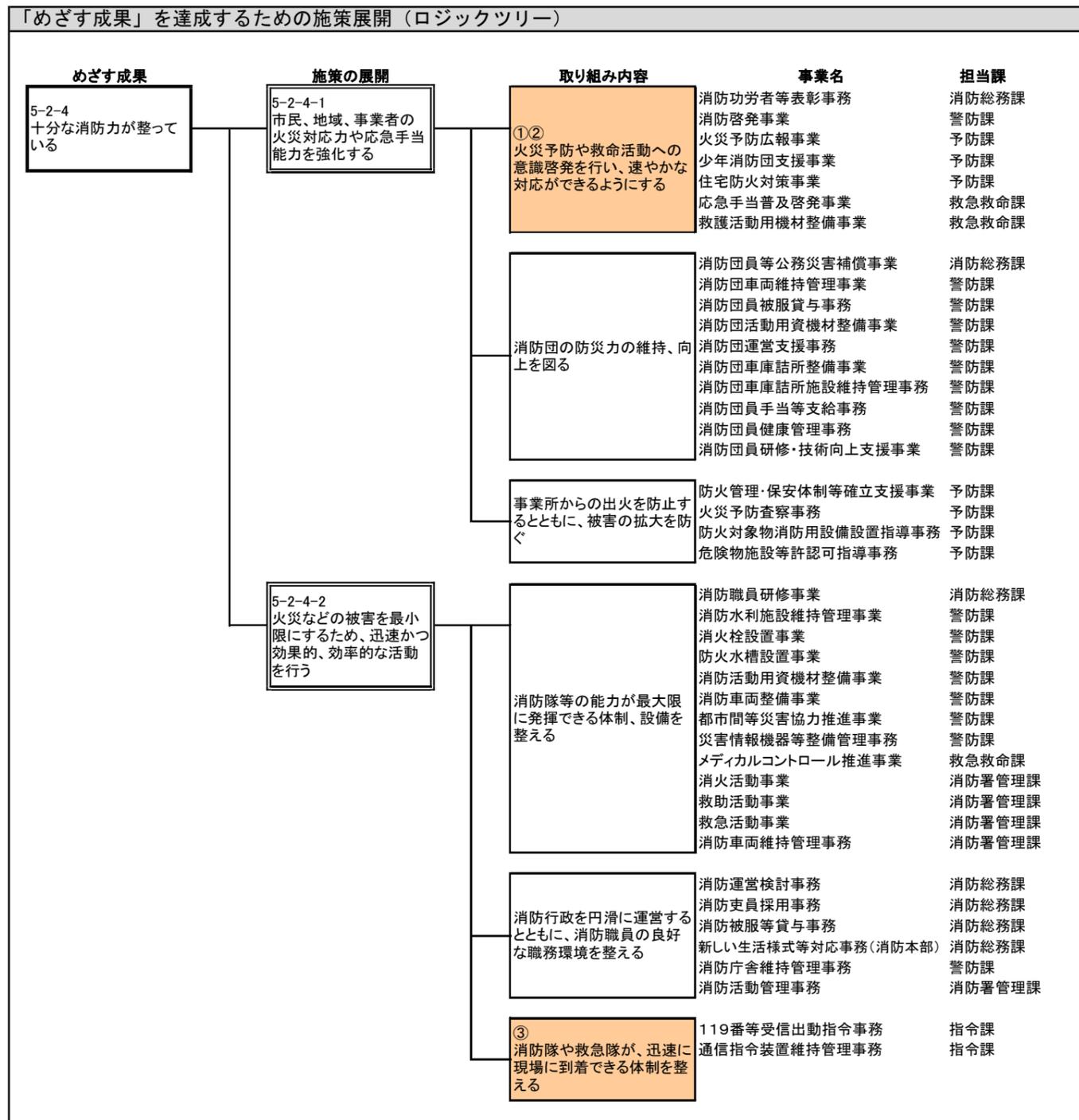


令和3年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート		
健康領域	まちの健康	
基本目標	5	安全で安心して暮らせるまち
個別目標	5-2	暮らしの安全を守る
めざす成果	5-2-1	犯罪の不安を感じることなく暮らしている
	5-2-2	交通事故の不安を感じることなく暮らしている
	5-2-3	安心して消費生活を送っている
	5-2-4	十分な消防力が整っている



所管部	消防本部				
【成果を計る主な指標】					
指標の名称	前期基本計画期間（R1～R5年度）				
	計画当初値	実績値（R1）	実績値（R2）	中間目標値（R3）	最終目標値（R5）
① 火災発生率（人口1万人あたりの火災発生件数）	2.16件	1.93件	1.6件	0件	0件
② 救命講習受講者資格取得者数（累計）	39,367人	46,772人	291人	55,000人	62,800人
③ 救急車の医療機関到着までの所要時間	38.2分	33.9分	35.1分	38.2分	38.2分

施策の展開	主な取り組み内容	今後の方針
市民、地域、事業者の火災対応力や応急手当能力を強化する	<ul style="list-style-type: none"> ■大規模災害時の火災に迅速に対応できるように、消防団専用のスタンドパイプ消火資機材を市内17か所に1台ずつ配備しました。 ■市内在住の小学4年生から中学3年生までの少年消防団員に対し、団体行動を通じて「自助・共助」の精神を養い、各種訓練で防火マナーを身につけるとともに、火災予防等に必要知識、技術を習得できるよう指導しました。 ■事業所及び学校などの自衛消防訓練に出向き、初期消火活動、通報要領、避難誘導方法について指導しました。 ■市民への応急手当に関する知識・技術の習得やAEDの普及啓発に努めました。 ■各種イベントや広報媒体を通じた救急車の適正利用についての普及啓発や医療関係機関等と連携した迅速な救急搬送体制の確立に努めました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■大規模災害時の火災対応については、消防団車両と合わせて、市内にあるスタンドパイプ消火資機材も活用し初期消火や延焼防止を図ります。 ■より多くの市民が効率的な住宅防火対策を行えるよう、住宅防火に関する講話の開催、住宅用火災警報器の設置と維持管理についての積極的な広報活動を実施します。 ■災害が複雑多様化しており、各事業所等の消防計画に基づいた自主防火管理体制の確立が不可欠なため、多くの事業所における自衛消防訓練の実施を促進します。 ■救命講習については、受講者数に制限を設け、感染防止対策を徹底することにより、コロナ禍に対応した形で実施していきます。 ■応急手当の重要性を一人でも多くの方に認識してもらうため、在宅でも応急手当を学ぶことができるWEB講習を取り入れた各種救命講習会を継続します。
火災などの被害を最小限にするため、迅速かつ効果的、効率的な活動を行う	<ul style="list-style-type: none"> ■消防力の低下を防ぐため、災害活動の中心となる消防車両について、消防車両等更新基本計画に基づく更新・整備を行うとともに、消防用活動資機材等の点検整備を実施しました。 ■市民の生命、身体、財産を保護するとともに、災害による被害の軽減を図るため、119番通報を受信した際の的確な部隊編成や出動部隊に対する速やかな通報・支援情報の提供を実施しました。 <p><119番通報実績> 火災等：(R1年度)222件、(R2年度)315件 救急事故：(R1年度)11,326件、(R2年度)10,387件 総数(問合せ等含む)：(R1年度)15,849件、(R2年度)14,943件</p> <ul style="list-style-type: none"> ■出動部隊については、迅速に出動し、火災等による被害の軽減を図るとともに、要救助者の早期救出、傷病者への適切な応急処置及び病院への搬送を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ますます複雑多様化する災害に対応するため、消防車両等更新基本計画に基づく各車両の更新整備と消防活動用資機材の点検整備を行うことにより、車両及び資機材の老朽化に伴う消防力の低下を防ぎます。 ■高機能消防指令装置システムを有効活用し、災害通報等の多様化に対応するため、通信指令勤務に特化した職員研修や訓練を行います。 ■人命救助を最優先としながら被害を最小限に抑えるための効果的かつ効率的な部隊活動を実施できるように検証及び訓練を実施します。 ■特殊災害や多数の傷病者が発生した事案に対する訓練を実施するとともに、研修等を実施し、さらなる災害対応力の強化を図ります。